

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード:130029

成人看護方法論Ⅲ Adult Nursing Ⅲ

担当教員	臺美佐子、紺家千津子、松本智里、南條裕子、額 奈々、瀧澤理穂、星野真実										
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。										
開講年次	2年次後期	単位数	1			授業形態	講義				
必修・選択	必修	時間数	15								
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	(3)	○	(4)	◎	(5)	(6)			
Keywords	慢性期看護、急性・周手術期看護、終末期看護、アセスメント、看護実践										
学習目的・目標	<p><目的> 成人期における人間の健康機能障害をアセスメントし、看護上の問題を確定した上で看護実践の基本となる実践的思考プロセスについて事例展開を通して学修する。</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none">急性期の患者への看護展開について、事例を通して、病態の特徴、日常生活における影響、アセスメント、援助方法について述べるができる慢性期の患者への看護展開について、事例を通して、病態の特徴、日常生活における影響、アセスメント、援助方法について述べるができる終末期の患者への看護展開の特徴について、述べるができる										
授業計画・内容											
回	内容										
事前準備	各機能に関連する解剖・生理学、疾病障害論等について復習の上、受講する。										
1	慢性期患者への看護展開①(臺)										
2	慢性期患者への看護展開②(臺)										
3	看護展開のリフレクションとグループ発表(臺、松本、星野)										
4	急性期患者への看護展開①(紺家、南條、額)										
5	急性期患者への看護展開②(紺家、南條、額)										
6	看護展開のリフレクションとグループ発表(紺家、南條、額)										
7	終末期患者への看護展開①(臺)										
8	終末期患者への看護展開②(臺)										
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学(5)消化器 南江堂の成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護										
参考図書等	疾病・障害論で使用した教科書及び資料 看護学大辞典 第6版(電子版)メジカルフレンド社(図書館 e-book利用可)										
評価指標	グループワークと筆記試験から総合的に評価する(100%)。										
関連科目	解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養、疾病・障害論ⅡA・ⅡB・ⅡC等										
教員から学生へのメッセージ	病態生理や対象者の特性の情報を統合し、いよいよ看護展開を行います。 講義・グループワーク・発表を通して、看護実践を学んでいきましょう。										